

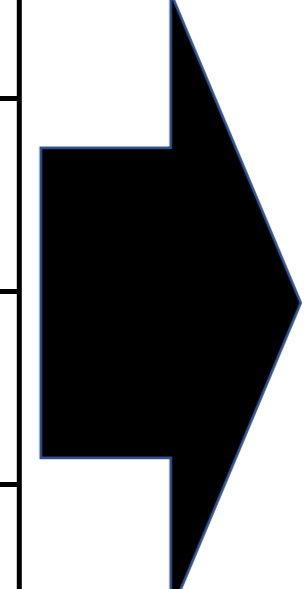
【2021年度～】東京医科大学医学部看護学科 カリキュラムマップ(看護学科)○必修 △選択 (講義または演習 単位数)

東京医科大学の教育理念:建学の精神である自主自学を校是である正義・友愛・奉仕に則り、医学および看護学の理論と応用を教授研究することを目的とする。この目的を達するために、人間を全人的に理解する教育を実践し、患者とともに歩む医療人を育てることにより、地域そして世界の健康と福祉に貢献することを使命とする

看護学科の教育理念:建学の精神である自主自学に基づき、人々の健康や看護学の発展に寄与できる看護職を育てる。高い、倫理観を持ち、豊かな教養と人間性および科学的な思考力を備え、社会を切り開く素地を養う。

看護学科のカリキュラムポリシー:自主自学を基盤に、科学的思考が段階的かつ着実に身に付き、高い倫理観を涵養することができるカリキュラムとする。ディプロマポリシーに掲げる7つの力を育成するために、学修が積みあがるような科目設定と配置を行う。アクティブラーニングを主軸とした様々な教育方法を通じて学修を展開する。

| 科目区分 | 1年次 | | 2年次 | | 3年次 | | 4年次 | | |
|--------|-----------------|--|--|---|---|--|---|---|--------------------|
| | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | |
| 一般教育科目 | 人間と自然科学 | ○生命科学(講義2) △生体の化学(講義2) ○情報科学(講義2) △情報リテラシー入門(演習1) | △生命と地球環境(講義1) △医療のための物理学(講義1) | | | | | | |
| | 人間と文化 | ○心理学(講義2) △文学(講義2) | ○発達心理学(講義1) △多文化共生論(講義2) | △教育学入門(講義2) | △健康とスポーツ(演習2) | | | | |
| | 人間と社会 | ○法学入門(講義2) △社会学(講義2) △国際関係論(講義1) | △生命倫理(講義2)※前・後期選択 △哲学(講義2)※前・後期選択 △ジェンダー論(講義2) △文化人類学(講義2) | △政治・経済学(講義1) | | | | | |
| | 探求の技法 | ○アカデミックスキルⅠ(学修の技法)(演習1) | ○アカデミックスキルⅡ(基礎ゼミ)(演習1) ○統計学(講義2) | | | | | | |
| | 人間と言語 | ○英語Ⅰ(基礎)(講義2) △スペイン語(講義2) △韓国語(講義2) △中国語(講義2) | ○英語Ⅱ(コミュニケーション)(演習1) △フランス語(講義2) △ドイツ語(講義2) | ○英語Ⅲ(医療英語)(講義2) | ○英語Ⅳ(エッセイライティング)(講義2) | | △英語Ⅴ(論文講読)(講義2) | | |
| | キャリアデザイン | ○キャリアデザインⅠ(基礎)(演習1) | | ○キャリアデザインⅡ(発展)(演習1) | | | | | |
| 専門基礎科目 | 人間と健康 | ○形態機能学(講義2) ○病理学(講義1) ○薬理学(講義1) | ○生化学(講義1) ○微生物学(講義1) ○疾病と治療Ⅰ(成人・老人系概論)(講義1) ○疾病と治療Ⅱ(成人・老人系各論)(講義2) △臨床心理学(講義1) | ○免疫学(講義1) ○薬理学(講義2) ○疾病と治療Ⅲ(周産期と婦人科系)(講義1) ○疾病と治療Ⅳ(こども)(講義1) | △遺伝学(講義1) | | △補完代替療法(講義1) | | |
| | 環境と健康 | | ○社会福祉・社会保障(講義2) △医療概論(講義1) | ○公衆衛生学(講義2) | ○疫学(講義2) | △保健統計学(講義2) ※保健師コース希望者必須 | | | |
| 専門科目 | 看護の基盤 | ○看護学概論(講義2) | ○看護倫理Ⅰ(基礎)(講義1) | | △チーム医療論(講義1) | | △看護理論(講義1) △看護の歴史(講義1) | △看護倫理Ⅱ(事例分析)(演習1) | |
| | 看護の対象(講義・演習) | | ○看護対象論(講義2) ○コミュニケーション論(講義1) ○地域・在宅看護Ⅰ(対象とケアシステムの理解)(講義1) | ○地域・在宅看護Ⅱ(療養生活の理解)(講義1) | ○精神保健論(講義1) ○地域・在宅看護Ⅲ(行政・産業・学校での看護)(講義1) | △家族看護論(講義1) | | | |
| | 看護の対象(実習) | ○看護基礎実習Ⅰ(対象理解)(実習1) ○老年基礎実習(実習1) | | ○在宅看護基礎実習(実習2) | | | | | |
| | 看護の方法(講義・演習) | ○看護技術Ⅰ(概論)(講義1) | ○看護技術Ⅱ(日常生活援助)(演習2) | ○看護技術Ⅲ(フィジカルアセスメント)(演習1) ○在宅看護援助Ⅰ(基礎)(演習1) | ○看護技術Ⅳ(診療の補助技術)(演習1) ○看護過程とEBN(演習2) ○成人・老年看護学概論(講義1) ○こども看護学概論(講義1) ○母性看護学概論(講義1) | ○成人看護学援助Ⅰ(慢性期・緩和ケア)(演習2) ○成人看護学援助Ⅱ(急性期)(演習2) ○老年看護学援助論(演習1) ○こども看護学援助論(演習2) ○母性看護学援助論(演習2) ○精神看護学援助論(演習2) | ○在宅看護援助Ⅱ(事例展開)(演習1) | | |
| | 看護の方法(実習) | | | ○看護基礎実習Ⅱ(対象と日常生活援助)(実習2) | | | ○成人看護学実習Ⅰ(慢性的な健康問題)(実習2) ○成人看護学実習Ⅱ(周手術期)(実習2) ○老年看護学実習(実習2) ○こども看護学実習(実習2) ○母性看護学実習(実習2) ○精神看護学実習(実習2) | | |
| | グローバルヘルス | | ○国際保健論(講義1) | ○国際看護活動論(演習1) ○災害看護論(講義2) | △災害看護援助論(演習1) | | | △国際看護フィールドワーク(演習2) | |
| | 看護の統合と発展(講義・演習) | | | ○看護システム論(講義2) | | | ○看護研究法(講義2) | ○看護システムマネジメント論(講義2) △生涯学習と看護の発展(講義1) | △看護技術Ⅴ(技術の統合)(講義1) |
| | 看護の統合と発展(実習) | | | | | | | ○卒業論文(演習2) | |
| | パブリックヘルス(講義・演習) | | | | | △公衆衛生看護学概論(講義2) | △公衆衛生看護学活動展開Ⅰ(基礎)(演習2) △公衆衛生看護学活動論(講義2) | △公衆衛生看護学活動展開Ⅱ(応用)(演習2) △公衆衛生看護管理論(講義1) | |
| | パブリックヘルス(実習) | | | | | | | △公衆衛生看護学実習(実習5) | |



| ディプロマポリシー |
|---|
| DP1: 人間の尊厳を守る力 生命の尊厳と人権を尊重する能力を備えている |
| DP2: 科学的に探究し表現する力 看護学およびほかの学問を修得しそれらを統合して科学的に探究し表現する能力を備えている |
| DP3: 看護の対象を理解し実践する力 対象を全人的に捉え、多様な方法を用いて看護を実践できる能力を備えている |
| DP4: 人や社会と関係を築く力 人や社会の多様性を理解し、関係を築いていく能力を獲得している |
| DP5: 多職種と連携する力 保健医療福祉に関わる様々な職種の専門性を理解し、連携・協働していく能力を獲得している |
| DP6: プロフェッショナリズムに基づき責任を果たす力 自己規律と職業倫理を備え、看護の使命を果たす能力を獲得している |
| DP7: 生涯にわたって研鑽し続ける力 専門職として自己を発展させる能力を獲得している |